

久保田保義



概要

氏 名 久保田保義 (くぼた やすよし)

職 業 陶芸家

住 所 人吉市矢黒町 2354

主な活動地 熊本県内、全国各地

(特別賞)

久保田保義氏は、大阪芸術大学芸術学部工芸科（陶芸専攻）で学び、

卒業の年、人吉市に鳥ヶ丘窯を開き、本格的に磁器の制作を始めて独立
自営に踏み切った。

そして九州内では、一九八二年、一九九〇年の九州山口陶展で、二
度の第一位「文部大臣奨励賞」に輝き、その二点の作品は、佐賀県立九
州陶磁文化館に収蔵されている。全国展においても、一九八〇年第二十
七回日本伝統工芸展に初入選以来、これまでに二十回の入選を果たすな
ど、数多くの受賞をしている。

一九九五年には、東京の三越美術館で行われた「ロッキングエラー展

基金オークション展」に、熊本県の陶芸家では初めて、久保田氏の「青
白磁流線文大壺」が展覧された。中でも、一般公募の日本最大級の陶芸

展である二〇〇一年第十六回日本陶芸展（毎日新聞社主催・文化庁後援）

では、「白磁流線文扁壺」で熊本県内の陶芸家としては初めて優秀作品賞
「毎日新聞社賞（第一部伝統）」を獲得し、非凡な力量とその努力が認め

られた。熊本県立美術館には、その作品のほか二点が収蔵されている。

また、熊本、東京、横浜および大阪等の百貨店の美術画廊において個

展を開催し、全国的に活動を行っている。このような久保田氏の取り組

みの姿勢は、県の工芸界のトップリーダーとして、若手作家たちの目標

となっている。

地元においては、一九八六年から人吉市勤労青少年ホーム陶芸講座で

指導にあたっては、一九九一年から人吉球磨総合美展の審査員や
県高齢者作品展の審査員も努めるなど、今後ますますの活躍が期待され
ている。

これまでの活動歴

昭和五十三年	大阪芸術大学芸術学部工芸学科陶芸専攻卒業、鳥ヶ丘窯築房	
(一九七八年)	県美展三十五周年記念賞受賞、第二十七回日本伝統工芸展 初入選	
昭和五十六年	熊日総合美術展 熊本県賞受賞	
(一九八二年)	九州・山口陶磁展第一位・文部大臣奨励賞受賞（佐賀県立 九州陶磁文化館収蔵）	
昭和五十八年	日本工芸会正会員認定	
(一九八三年)	昭和五十九年	熊本県美術家連盟展 平山賞受賞（県立美術館収蔵）
(一九八四年)	昭和六十年	西部工芸展 二十周年記念正会員特別賞受賞
(一九八五年)	平成二年	九州・山口陶磁展第一位・文部大臣奨励賞受賞（佐賀県立 九州陶磁文化館収蔵）
(一九九〇年)	平成三年	第十一回日本陶芸展 第一部最優秀作品賞候補
(一九九二年)	平成五年	第十二回日本陶芸展 第一部最優秀作品賞候補
(一九九三年)	平成七年	フランスエッセイ・ロッキングエラー奨学基金オークション展 出品
(一九九五年)	平成八年	陶房移築（人吉市矢黒町）
(一九九六年)	平成九年	第十四回日本陶芸展入選、作陶二十周年記念個展を開催 （鶴屋百貨店）
(一九九七年)	平成十年	熊本県立美術館友の会賞受賞（県立美術館収蔵）
(一九九八年)	平成十一年	第十五回日本陶芸展入選
(一九九九年)	平成十三年	第四十八回日本伝統工芸展入選（計二十回）
(二〇〇一年)	第十六回日本陶芸展 優秀作品賞・毎日新聞社賞受賞（県 立美術館収蔵）	